

科目名			人間工学実習		
科目責任者		榎原毅	(人間工学 教授)		
担当者		谷直道	(人間工学 講師)		
開講時期:	2～4年次	単位数:	6 単位	時間数:	90分× 90 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>人間工学研究者には、研究遂行能力にとどまらず、社会の課題解決のためにソリューションを提供する課題解決力や高度な指導能力が求められる。課題解決型学習 (PBL) による実習を通じて、提案スキルや社会実装スキルの醸成をはかる。最新のバックキャストイング手法やステークホルダ適正化手法といった、束ねる科学としての人間工学応用能力を獲得する。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) 人間工学の基礎知識を課題解決と紐付け、有機的な学際知識の組み合わせを考案できる。 2) 社会の課題解決に必要となる評価指標を包括的に設定できる。 3) 課題解決のソリューション提案を合理的に提案できる。 4) 課題解決に必要となるパートナーシップ構築を考案できる。 5) バックキャストイングによる「問い」のデザインを具現化できる。 6) 「目指す未来像」から逆算し、「取り組む課題」のマイルストーンをデザインできる。 7) ソリューション提案について概念実証(PoC)やELSI視点により合理的に検証できる。 					
● 評価方法		実習における実験の取り組み姿勢50%、成果のまとめの内容等50%で評価する。			
● 参考文献		実習の中で必要に応じ紹介する。			